

■池上太郎左衛門(幸豊) 宝暦期の幕府の新田政策展開の先鋒となる一方、諸国巡回して製糖法を伝え、国産化に貢献。

いけがみたらうざえもん
御蔭参流行・1718=

武蔵国大師河原村で、日蓮のために池上本門寺を建立した宗仲を祖とし、曾祖父が稲荷新田を開発し、本門寺を再建するとともに、土地一切を寄進して移住し、その名主となった豪農池上家の嫡男に生まれる。

国のために尽くすという家風に育ち、

・・・・・・1727=9歳：

梅岩心学始・1729=11歳：父が死去、家督を相続して、24代当主となる。

享保大飢饉・1732=14歳：

・・・・・・1736=18歳：

・・・・・・1737=19歳：江戸の儒者成島道筑に入門して和漢を学び、才能を見込まれて、国益につながる農作の法を伝授され、

徳川吉宗隠居1745=27歳：

菅原伝授十・1746=28歳：*大師河原村前面の江戸湾の出洲百町歩を自費で干拓することを幕府に願い出るが、

前例の無い事業なので容易に許可されず、

徳川吉宗没・1751=33歳：

・・・・・・1752=34歳：試験的に15町歩だけ開発することが認められ、

薩摩藩工事・1753=35歳：着工したが、

山脇東洋解剖1754=36歳：

・・・・・・1756=38歳：大浪が起こって、3年にわたって築いてきた汐除堤が全て崩壊、

源内物産会・1757=39歳：さらに、六郷川の大洪水で、陸側から堤が押し流されるという苦難にもめげず、

大弐政治批判1759=41歳：ようやく、15町歩近い新田開発に成功。

大岡忠光没・1760=42歳：

・・・・・・1761=43歳：*奇特なる者と、幕府から5反歩を払下げられ、

・・・・・・1762=44歳：検地を受け、願い出通り、池上新田と命名される。識見が認められて、武蔵国荏原郡海岸の新開見立を命じられる。並行して、前年砂糖の製造法を完成した田村元雄の推薦で、初めて甘蔗栽培を試み、

・・・・・・1763=45歳：

千代女句集・1764=46歳：続いて、橋樹郡から多摩郡の新開見立も命じられ、以後、地元村の有力者への勸奨役を務めて、宝暦期の幕府の新田政策を担う。

錦絵始・・・1765=47歳：江戸の医師河野三秀が製糖法を完成したことを知ってから、砂糖への関心を高め、

久留米藩工事1768=50歳：新開見立などの功で、一代限りながら苗字帯刀を認められる。本格的に砂糖を製造し、地方役所に献上。それまで、3年にわたって願い出していた、諸国の村々を巡回して、製糖法を伝えることをようやく許され、池上新田は、その後もたびたび高潮に襲われて、堤が決壊、その都度、幕府に申請し、年賦拝借金を得て修復してきたが、

田沼意次老中1772=54歳：

解体新書・・・1774=56歳：*ついに、新田世話役を辞任し、見立開発事業一切から手を引く一方、大掛かりな諸国巡回伝法を実行、

・・・・・・1781=63歳：

田沼意次失脚1786=68歳：2回目の大掛かりな諸国巡回伝法、

・・・・・・1788=70歳：3回目の大掛かりな諸国巡回伝法、

異学の禁・・・1790=72歳：

松平定信引退1793=75歳：

昌平饗始・・・1797=79歳：*2000斤以上の砂糖を製造し、氷砂糖の試造にも成功したところで、

古事記伝・・・1798=80歳：没した。